

ディスクロージャー誌2013
(皆様のための情報公開誌 平成24年度版)

J A 延岡のご案内



ディスクロージャー誌目次(1 / 4)

【単 体】

1. ごあいさつ	P1
2. 沿革・あゆみ	P2
3. トピックス	P3
4. 事業のご案内	P4
5. 経営方針	P8
6. 業務運営	P10
(1) リスク管理体制について	
(2) コンプライアンス(法令等遵守)の体制	
(3) 金融ADR制度への対応	
7. 系統セーフティネット	P12
8. 農業振興活動	P13
9. 社会的責任と貢献活動	P13

1 ごあいさつ

平成25年5月
延岡農業協同組合
代表理事組合長 白坂 幸則



ＪＡ事業運営につきましては、平素より暖かいご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、未曾有の被害をもたらした東日本大震災から２年が経過いたしました。農業被害の復興および原発事故の復旧は遅々として進んでおらず、風評被害も含め、わが国の経済や国民の消費活動に、今もなお重い影を落としています。しかしながら、震災により再確認された「助け合い」や「絆」という、古来より日本人の中に脈々と流れる「思いやりの心」は、まさに協同組合の基本理念である『相互扶助』の精神であり、人が人との結びつきの中でさまざまな社会的・経済的活動を営んでいく上で、最も重要で、最も美しく、そして最も不可欠な要素であることを改めて認識したところであります。

奇しくも昨年は、国連が定めた「国際協同組合年」であり、ＪＡ延岡といたしましても、各種イベント等を通じて、市場原理主義により生み出された格差社会の是正や貧困の削減・雇用の創出等、協同組合がもたらす社会経済的発展への貢献について、社会的認知度を高める活動を実施してまいりました。

11月には「未来へつなぐ食と農」をテーマに、「第10回農業まつり」を2日間にわたり開催いたしましたところ、多くの組合員・利用者・地域住民の方々にご来場いただき、延岡産農畜産物の消費拡大や「食」の安全・安心について、十分な情報発信ができたものと考えております。

また、5年に一度開催される和牛オリンピックといわれる「第10回全国和牛能力共進会」で宮崎県が連続日本一の快挙を成し遂げることができました。このことは単なる快挙ということにとどまらず、口蹄疫被害からの復興、復活、そして「畜産王国」の底力を全国に発信するという象徴的な出来事でもありました。

しかし、そのような中、政府は十分な国民への説明もせず「ＴＰＰ交渉への参加」を表明いたしました。現在の枠組みで参加が実現すれば、わが国の農業経営は窮地に追い込まれ、農村社会の崩壊は回避できないものとなります。これまでも医療・保険等関係団体との連携を図り、交渉参加断固反対運動を全国規模で展開してまいりましたが、今後も動向を注視しながらより強固に反対してまいります。

平成25年度は、第7次中期3ヵ年経営計画の最終年度として、「地域農業振興基本計画」・「生活活動基本計画」・「経営管理基本計画」に基づき、農協が組合員・地域に対して何を為すべきかという『原点』を見つめ直し、全役職員一丸となって目標達成に向けて全力で取り組んでまいり所存でございます。

今後とも、なお一層のご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます、ごあいさつと致します。

平成 2 年	4 月	延岡農業協同組合発足（延岡市農協と延岡農協が合併）
平成 3 年	6 月	オートパル（自動車整備工場）落成
平成 4 年	10 月	共済4,000億保有達成
	12 月	年末貯金711億達成
平成 5 年	3 月	第3畜産センター落成（平成2年12月起工）
	3 月	東延岡支店落成
	11 月	第1回農業まつりの開催
	12 月	あたご出張所落成
平成 6 年	9 月	東海給油所落成
平成 7 年	7 月	松山給油所落成
	10 月	JA明屋書店一ヶ岡店落成
平成 8 年	3 月	葬祭会館プリエール延岡営業開始
	12 月	仕出しセンター完成
平成 9 年	1 月	育苗センター落成
	2 月	北方支店落成
平成 10 年	4 月	哺育センター、種豚センター落成
	8 月	グリーンワンしおはま・ひらた開店
	11 月	グリーンワンおおかど開店
平成 11 年	1 月	「空飛ぶ新玉ネギ」初出荷
平成 12 年	5 月	Aコープ一ヶ岡店新装グランドオープン
	12 月	鉄工団地SS新装オープン
	12 月	JA延岡ホームページ開設
平成 13 年	2 月	JA延岡合併10周年記念式典
	7 月	「太陽の野菜ジュース」販売開始
	12 月	プリエール延岡おおたけ斎場落成
平成 14 年	2 月	（有）延岡農協畜産センター設立
	4 月	農林年金・厚生年金と統合
	6 月	「空飛ぶ新玉ネギ」ゆうパック取扱い表彰（総務大臣）
	10 月	（株）エコープみやざき新会社スタート
平成 15 年	4 月	「空飛ぶ玉ネギドレッシング」発売
	8 月	Aコープ三須店閉店
平成 16 年	10 月	北川台風災害の復旧ボランティア活動
平成 17 年	1 月	三川内事業所・方財事業所閉鎖
	8 月	三須出張所閉鎖
	8 月	新「あたご支店」営業開始
	9 月	台風災害の復旧ボランティア（北方町・古川町）
	10 月	「天下一蔵出し米」発売
	10 月	細見出張所閉鎖
	10 月	新「平田支店」営業開始
	12 月	農林産物直販店「むかばきの郷」オープン
平成 18 年	5 月	「プリエールのた」オープン
	6 月	JA延岡「天下一茶」を新発売
	8 月	（株）JA延岡地域農業振興支援センター設立
	8 月	（有）畜産センター牛が優勝（県下JA枝肉共励会）
	9 月	北方支店・曾木出張所の統合
	10 月	竜巻被害の水田に営農支援隊が復旧作業支援
	10 月	新・伊形支店 オープン
平成 19 年	1 月	グリーンワンおおかど店内に「旬菜市場」オープン
	3 月	桜ヶ丘出張所・川島出張所閉店
	3 月	新店舗「東海支店」営業開始
	8 月	台風5号災害の復旧ボランティア
	12 月	地産地消・延岡産・芋焼酎「亮天」
		北方産・栗焼酎「三代の松」発売開始
	12 月	中央給油所閉店
平成 20 年	4 月	（有）延岡農協畜産センター - 育成センター - 落成式



平成 21 年	1 月	旧伊形支店解体神事
	4 月	種鶏第5団地事業開始
	8 月	キャトル実証展示事業開始
平成 22 年	4 月	宮崎県内で口蹄疫発生
	5 月	「ふるさと市場」落成式
	5 月	「プリエール延岡いがた」落成式
	6 月	「空飛ぶ玉ネギカレー」発売
平成 23 年	11 月	J A 延岡合併20周年記念式典
	5 月	空飛ぶ新玉ネギせんべい発売
	5 月	空飛ぶ新玉ネギス - プ発売
	7 月	県北地区 T P P 参加阻止決起大会
平成 24 年	5 月	「ふるさと市場」オープン2周年大感謝祭
	11 月	第10回農業まつりの開催



3 トピックス

「第10回農業まつり」の開催

11月に「第10回農業まつり」を開催し、焼肉フェスティバルや農産物品評会等を通じて、安全・安心な管内農畜産物のPRを行い、消費者の「食」と「農」に対する更なる意識高揚に取り組みました。



経済総合渉外の導入

本年度から「経済総合渉外」を導入し、多様化する組合員ニーズの把握と迅速な対応に努めるとともに、関係部署および各生産組合との連携を図り、地域毎の作物・作付面積等の情報収集および情報管理に取り組み、需要に応じた推進活動の基盤づくりに努めました。

4 事業案内

信用事業

信用事業は、貯金、融資、為替等いわゆる銀行業務といわれる内容の業務を行なっています。この信用事業は、JA（農協）・信連・農林中央金庫という三段階の組織が有機的に結びつき、JAグループ（農協系統）金融として大きな力を発揮しています。

貯金業務

組合員はもちろん地域住民の皆さまや事業主の皆さまからの貯金をお預かりしています。普通貯金、当座貯金、スーパー定期、定期積金、総合口座等の各種貯金を目的・期間・金額にあわせてご利用いただいております。

【主な貯金商品】

種類	特色・内容	期間	お預入金額	
暮らしと共に	普通貯金	給与、年金などの自動受取りや各種公共料金の自動支払いにもご利用いただけます。	期間の制限なし	1円以上
	総合口座	普通貯金に定期貯金をセットし、必要に応じ定期貯金の90%（最高300万円）まで貸越（自動融資）が可能です。「貯める・支払う・借りる」の1冊3役の便利な口座です。		
	決済用貯金	貯金保険制度において保護の対象となる口座（無利息型）です。		
目的のために	定期積金	ライフプランに合わせて毎月一定額を積み立てる貯金です。	6ヶ月～5年	1,000円以上
	定期積金 「愛と絆」	「愛と絆」メンバーズカード提示する事でプリエール延岡、オートパル延岡、ホテルメリージュで特典や割引が受けられるJA延岡オリジナル商品です。	5年型	2,000円以上
			3年型	3,000円以上
	子育て支援定期積金 「こども倶楽部」	契約時15歳以下のお子様を扶養している親権者の方に、お子様の人数やJA共済加入に応じて金利上乘せする商品です。	2年～5年	5,000円以上
積立式 定期貯金	いつでも余裕金を預け入れできます。預入金額ごとに期日指定定期貯金としてお預かりします。	無制限	1円以上	
資金運用のために	スーパー定期	自由金利、確定利回りなので安心・確実です。	1ヶ月・3ヶ月 6ヶ月・1年 2年・3年 4年・5年	1円以上 300万円未満
	スーパー定期 300	300万円からの自由金利型定期貯金です。確定利回りなので安心・確実です。		300万円以上
	期日指定 定期貯金	個人のみ、1年複利・最長3年の定期貯金です。預入日から、1年を経過すると1万円単位でお払出しいただけます。	最長3年 1年据え置き	1円以上 300万円未満
	変動金利 定期貯金	市場金利の変動により、半年ごとに金利を変更させていただきます。お預入期間は3年で、お利息を半年複利で計算します。	3年	1円以上
その他	当座貯金	お取引に安全で便利な小切手・手形がご利用いただけます。	期間の制限なし	1円以上
	納税準備貯金	納税資金専用の貯金で非課税の特典があります。	入金はいつでも	1円以上

上記については主な内容のみです。詳しくは最寄りの支店・出張所窓口の商品概要説明書をご覧ください。その他ご利用に応じた貯金商品を取り揃えておりますので詳しい内容につきましては、窓口にお尋ねください。

為替業務

全国のJA（農協）・信連・農林中央金庫の店舗をはじめ、全国の銀行や信用金庫等の各店舗と為替網で結び、当組合の窓口を通して全国のどこかの金融機関へでも送金や手形・小切手等の取り立てが安全・確実・迅速にできる内国為替をお取扱いしています。

国債窓口販売業務

金融市場の自由化及び国際化に伴いお客様の金融ニーズが一段と多様化・高度化されています。こうしたお客様のニーズにお応えするため、国が責任をもって発行する債券である国債、個人向け国債を取り扱っております。

投資信託窓口販売業務

長期的な低金利を背景に資産形成をお考えのお客様の資金運用ニーズにお応えするため、投資信託の窓口販売業務を行っています。詳細については本店金融企画課・岡富支店の投資信託ご相談窓口までお問い合わせください。

サービス・その他

当組合では、コンピューター・オンラインシステムを利用して、各種自動受取り、各種自動支払いや事業主の皆さまのための給与振込サービス、自動集金サービス、口座振替サービス等をお取扱っています。

また、国債の保護預り、全国のJA(農協)での貯金の出し入れやゆうちょ銀行、セブン銀行等の銀行、信用金庫等でも現金引き出しのできるキャッシュサービス等、いろいろなサービスに努めています。

詳しくは最寄りの支店・出張所窓口へお尋ね下さい。

種 類	内 容
JAキャッシュサービス (デビットカード)	カード1枚で全国のJAの各支店をはじめ、全国の提携金融機関・セブン銀行・ゆうちょ銀行のATMでご利用できます。デビットカードについては、JAのキャッシュカードがあれば全国の加盟店で現金を引出すことなくお買い物が可能になります。
年金・給与振込	公的年金のお受取や給与・賞与等のお受取ができます。一度ご指定いただきますと自動的に口座へ入金されるため大変便利です。貯金口座に振り込まれた日からお利息が付きまますので大変お得です。
自動支払サービス	公共料金・学費・各種税金・クレジット代金などのお支払いは、ご指定の口座から自動的にお支払いできます。支払い忘れがなく、貯金通帳に支払い金額・支払日が記載されますので家計簿代わりにもなり大変便利です。
JAカード (クレジットカード)	お買物、ご旅行、お食事などお客様のサインひとつでご利用いただけます。またお金が必要なときはキャッシングサービスも受けられる便利なカードです。さらにカード盗難保険サービスといった各種補償サービスも付帯されています。
自動送金サービス	毎月決まった日・金額・振込先に自動的に振込いたします。家賃・駐車料金やお子様への仕送りなどの振込に大変便利です。
自動集金サービス	定期的にご集金の販売代金・賃貸料・会費などを支払人の貯金口座から引き落として、お客様の指定された口座へ自動的に振込いたします。集金事務の合理化が図られます。
JAネットバンク	窓口やATMに行かなくても、お手持ちのインターネットに接続されているパソコン・携帯電話からアクセスできます。平日、休日を問わず残高照会・振込・振替などの各種サービスがご利用いただけます。

融資業務

組合員の皆さまの農業振興を図るための農業関連資金のご融資をはじめ、地域金融機関の役割として地域住民の皆さまの暮らしや事業に必要な資金もご融資しています。

また、地方公共団体、農業関連産業などへもご融資し、地域経済の質的向上・発展に貢献しています。さらに、住宅金融支援機構、日本政策金融公庫等の融資の申込みのお取次ぎもしております。

【主な融資商品】

ご融資の種類	資金のお使いみち	融資期間	融資限度額	
農業 関連 資金	制 度 資 金	農業経営に必要な施設設備、就農者の育成等の資金	資金毎に期間設定	
	JA農機ハウスローン	農機具等の購入関連資金	10年以内	資金毎に限度額設定 1,000万円以内
住宅 関連 資金	住 宅 ロ ー ン	住宅新築・中古物件、マンションの購入・住宅の増改築・改装・他の金融機関からの借換等	35年以内	5,000万円以内
	リフォームローン	住宅の増改築・改装・補修に関連する資金	15年以内	1,000万円以内
生活 資金	マイカーローン	自動車購入に関連する資金	7年以内	500万円以内
	教 育 ロ ー ン	就学子弟の教育に関連する資金	据置期間も含め 15年以内	500万円以内
	JAフリーローン	暮らしに必要な資金 (負債整理資金・事業資金以外)	7年以内	300万円以内
	JAカードローン	暮らしに必要な資金 (負債整理資金・事業資金以外)	2年毎に審査後更新	50万円以内

*上記については主な内容のみを記載しております。また、保証会社の各商品ごとに利率、保証料、ご利用限度額など貸出の条件が異なりますので、詳しくは最寄りの支店・出張所の窓口にお尋ね下さい。

ローンの上手な利用方法

豊かな生活を送るためには、ローンを上手に利用することも必要です。それには、計画的に無理なく返済できる範囲内でローンをご利用いただくことが肝要です。返済計画は、生活を極端に切り詰めることなく、また病気など不慮の事故も考慮して、余裕のある計画を立てるようにしてください。

共済事業

基本方針

J A 共済は、組合員・利用者および地域住民の皆さまの多様な保障ニーズに対応した仕組み・サービスを提供するとともに、3Q訪問活動を通じて組合員・利用者の皆さまとの「絆の強化と仲間づくり」を積極的にすすめる「安心」と「満足」を提供するための取り組みを行なっています。また、コンプライアンスを遵守し丁寧かつ誠実な普及活動を行ってまいります。

長期共済

【主な種類とその特徴】

種 類	特 長	加入年齢
終身共済	一生涯にわたって死亡・後遺障害を保障するもので、ご家族の生活資金や老後の万一の保障を確保できる共済です。	15～75歳
医療共済	入院・手術はもちろん、がんの治療や先進医療など、もしものときの幅広い医療リスクに一生涯備えることができます。	0～75歳
がん共済	一生涯にわたって悪性新生物または脳腫瘍に罹患した場合の保障や、最新の治療に対応することができます。	0～75歳
養老生命共済	一定期間の死亡・後遺障害を保障するもので、満期時には満期共済金が支払われ貯蓄性があります。	0～75歳
子ども共済 (にじ・えがお・すてっぷ)	お子様の将来の夢を応援いたします。入学時などにあわせて祝金を受け取ることができる共済です。	お子様加入年齢 0～12歳
年金共済	老後の資金に備えるための共済です。一生涯にわたる終身年金タイプと一定期間に受け取る定期年金タイプがあります。	18～65歳
建物更生共済	火災・自然災害等において建物家財を対象に保障する共済です。満期時には満期共済金が支払われ貯蓄性があります。	

短期共済

【主な種類とその特徴】

種 類	特 長
火災共済	火災等において建物・家財を対象に保障する共済です。掛け捨てタイプの共済です。
自賠償共済	自賠償法によって加入が義務づけられている強制共済（保険）です。自動車に証明証書を備える必要があります。支払い対象は対人事故のみです。
自動車共済	自賠償を超える対人賠償を保障する共済です。車両・人身傷害保障と対人・対物無制限保障をセットしたタイプ等があります。自賠償共済とのセット加入により割引制度があります。
傷害共済	旅行やスポーツなどで事故にあった場合の共済です。

上記については主な内容のみです。詳しくは最寄りの支店・出張所窓口にてお尋ね下さい。その他ご利用に応じた共済を取り揃えております。お気軽にご相談下さい。

J A 共済ではご利用されるお客様の意向に沿った最適な保障を提供していきたいと考えております。そのためJ A 共済では、「意向確認書（自動車共済はご契約内容確認書）」を用意し、ご加入いただく共済の内容がお客様の意向に沿った内容となっているか確認させていただき契約手続き（意向確認）を行っております。

具体的にはご契約のお申込み時に「意向確認書（自動車共済はご契約内容確認書）」のご記入、ご提出をお願いいたします。確認手続きの際にお時間をいただくこととなりますが、ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

営農・経済事業

購買事業

農業生産および生活に必要な資材や物資を供給する事業です。生産資材・生活資材・Aコープマーク品・農業機械・自動車・燃料（給油所・LPガス）・仕出し料理など多くの品物を取り扱っています。また、地産地消・高齢化・健康志向などのニーズに対応するため、高齢者福祉・ギフト・家庭配置薬・共同購入により、組合員や地域の暮らしを幅広く支援する事業を行っています。

延岡産のブランド作物「空飛ぶ新玉ネギ」を使用した「太陽の野菜ジュース」・「空飛ぶ玉ネギドレッシング」を販売しております。また、延岡産の茶葉を使用した「天下一茶」を販売しております。

購買店舗	給油所	その他
グリーンワンしおはま	松山給油所	オートパル
グリーンワンひらた	東海給油所	味の季節館
グリーンワンおおかど	鉄工団地給油所	農機具センター
北方支店	北方給油所	ギフトセンター
北川支店		
北浦支店		



販売事業

組合員の生産した生命の糧である食料を、消費者のニーズに応えるべく新鮮で、安全・安心・安価なものを安定的に販売しています。そのため、生産組合や青壮年部および行政機関と連携のもと、組織化、集団化、共同利用施設により、共同出荷、計画販売に努めています。近年では、延岡産のブランド作物「空飛ぶ新玉ネギ」、「天下一蔵出し米」、「延岡牛」等の販売に努めています。

また地産地消運動の一環として、JAの施設として農林産物直販店「ふるさと市場」、「むかばきの郷」、「旬菜市場」を展開し、市内のスーパーやAコープなどに農産物直売コーナーを設置し、地元産野菜等の販売を行っています。

【主な施設等】

種別	施設名	種別	施設名
農産	(株)JA延岡地域農業振興支援センター	畜産	畜産管理センター(5ヶ所)
農産	和田越選果場	畜産	種鶏中ピナ供給センター
農産	塩浜農業倉庫	畜産	種鶏第5団地
農産	高野倉庫	農林産物直販店	ふるさと市場(あたご支店横)
農産	北方選果場	農林産物直販店	むかばきの郷(グリーンワンひらた横)
農産	北浦野菜集出荷場	農林産物直販店	旬菜市場(グリーンワンおおかど内)
畜産	(有)延岡農協畜産センター	農林産物直売	市内スーパー・Aコープほか



指導事業

農産・畜産各部門の営農指導および女性部を中心とした生活指導、その他税務相談・教育・広報活動等を行い、組合員の生産技術・生活・経営安定の向上に努めております。

子会社により就農者の研修受入を行い、後継者の育成にも努めています。

また、一般の方々を対象とした「いきいき農業塾」も行っております。(受講期間：1年間)

その他として下記の事業も行っております。

旅行センター：旅のお手伝いを、農協観光(Nツアー)の全国ネットで行っております。

土地建物情報センター：組合員の資産に関する相談活動と宅地等供給事業を行っております。

葬祭事業：(株)プリエール延岡(斎場：びゅう・おおたけ・のた・いがた)で行っております。

5 経営方針

< 経営理念 >

わたしたちは、延岡の「食と農」を守り、みなさまに「笑顔と満足」をお届けし、ふるさとの「豊かな未来づくり」に貢献します。

1. 延岡の農業を振興し元気にします！
1. 延岡のみなさんの笑顔を育みます！
1. 延岡の豊かな未来を創ります！
1. 延岡の農業・人・未来のために考動します！

< 基本方針 >

「第7次中期3ヵ年経営計画」（地域農業振興基本計画・生活活動基本計画・経営管理基本計画）に基づき、その実現に向けて取り組みます。

1. 組合員の所得向上のための活力ある地域農業の創造
2. 事業の「合理化」「効率化」「集約化」
3. 営業体制・相談機能の充実
4. 地域に貢献し、地域に根ざした事業の展開
5. 組織・事業基盤の強化

< 金融商品の勧誘方針 >

当組合は、金融商品販売法の趣旨に則り、貯金・定期積金、共済その他の金融商品の販売等の勧誘にあたっては、次の事項を遵守し、組合員・利用者の皆さまの立場に立った勧誘に努めるとともに、より一層の信頼をいただけるよう努めてまいります。

1. 組合員・利用者の皆さまの商品利用目的ならびに知識・経験・財産の状況および意向を考慮のうえ、適切な金融商品の勧誘と情報の提供を行います。
2. 組合員・利用者の皆さまに対し、商品内容や当該商品のリスク内容など重要な事項を十分に理解していただくよう努めます。
3. 不確実な事項について断定的な判断を示したり、事実でない情報を提供するなど組合員・利用者の皆さまの誤解を招くような説明は行いません。
4. お約束の場合を除き、組合員・利用者の皆さまにとって不都合と思われる時間帯での訪問・電話による勧誘は行いません。
5. 組合員・利用者の皆さまに対し、適切な勧誘が行えるよう役職員の研修の充実に努めます。

< 個人情報保護方針 >

当組合は、組合員・利用者等の皆様の個人情報を正しく取扱うことが当組合の事業活動の基本であり社会的責務であることを認識し、以下の方針を遵守することを誓約します。

1. 当組合は、個人情報を適正に取扱うために、個人情報の保護に関する法律（以下「法」といいます。）その他、個人情報保護に関する関係諸法令および農林水産大臣をはじめ主務大臣のガイドライン等に定められた義務を誠実に遵守します。個人情報とは、法第2条第1項に規定する、生存する個人に関する情報で、特定の個人を識別できるものをいい、以下も同様とします。
2. 当組合は、利用目的をできる限り特定したうえ、あらかじめご本人の同意を得た場合および法令により例外として扱われるべき場合を除き、その利用目的の範囲内でのみ個人情報を取扱います。ご本人とは、個人情報によって識別される特定の個人をいい、以下同様とします。
3. 当組合は、個人情報を取得する際、適正な手段で取得するものとし、利用目的を、法令により例外として扱われるべき場合を除き、あらかじめ公表するか、取得後速やかにご本人に通知または公表します。ただし、ご本人から書面で直接取得する場合には、あらかじめ明示します。
4. 当組合は、取扱う個人データを利用目的の範囲内で正確・最新の内容に保つよう努め、また安全管理のために必要・適切な措置を工事従業者及び委託先を適正に監督します。個人データとは、法第2条第4項が規定する、個人情報データベース等（法第2条第2項）を構成する個人情報をいい、以下同様とします。
5. 当組合は、法令により例外として扱われるべき場合を除き、あらかじめご本人の同意を得ることなく、個人データを第三者に提供しません。
6. 当組合は、保有個人データにつき、法令に基づきご本人からの開示、訂正等に応じます。保有個人データとは、法第2条第5項に規定するデータをいいます。
7. 当組合は、取扱う個人情報につき、ご本人からの苦情に対し迅速かつ適切に取り組み、そのための内部体制の整備に努めます。
8. 当組合は、取扱う個人情報について、適正な内部監査を実施するなどして、本保護方針の継続的な改善に努めます。

6 業務運営

(1) リスク管理体制について

組合員・地域住民の皆さまに安心して当JAをご利用いただくためには、より健全性の高い経営を確保し、信頼性を高めていくことが重要です。

このため、有効な内部管理体制を構築し、直面する様々なリスクに適切に対応すべく、認識すべきリスクの種類や管理体制と仕組みなど、リスク管理の基本的な体系を整備しています。また、収益とリスクの適切な管理、適切な資産の自己査定の実施などを通じてリスク管理体制の充実・強化に努めています。

1. 審査体制

個々の貸出金の債務者残高は、職務権限に基づき決裁されていますが、3,000万円を超える案件については、組合長を座長とした貸出審査会を開催(週1回)し、副組合長、常務、総務・金融の各部長及びリスク管理課、融資課、関係する課、支店長及び支店担当を構成員として貸出審査会要領に基づき実行しております。

2. 監査体制

監査体制については、監事6名(常勤監事・員外監事含む)および監査室において、監事監査・内部監査を計画的に実施しております。また、必要に応じて随時監査・無通告監査を実施し、事務処理の適正化および不正事故防止に努めております。

3. ALM管理体制

資金運用の環境が大きく変動するなか、効率的な資金計画の策定や各種リスク情報に基づく運用方針の決定を行うこと(ALM委員会)により、財務健全性維持と安定収益の確保に努めております。

ALM・・・資産(運用)と負債(調達)の総合管理という意味です。

(2) コンプライアンス(法令等遵守)の体制について

JAは高い公共性を有し、組合員および地域の企業・住民のための協同組織金融機関として、農業の健全な発展、豊かな国民生活の実現、地域社会繁栄への奉仕に資するため、その社会的責任と公共的使命を自覚し地域発展のために尽力しています。

このため、当JAにおいては、これからもこうした社会的責任と公共的使命を全うする金融機関として、地域社会の負託に応え、これまで以上にゆるぎない信頼を確立していくため、以下5項目からなる基本方針を定め取り組んでまいります。

(基本方針5項目)

社会的責任と公共的使命の認識

組合員等のニーズに対応した質の高い金融等サービスの提供

法令やルールの厳格な遵守

反社会的勢力の排除

透明性の高い組織風土の構築と社会とのコミュニケーションの充実

(3) 金融ADR制度への対応

苦情処理措置の内容

当JAでは、苦情処理措置として、業務運営体制・内部規則等を整備のうえ、その内容をホームページ・チラシ等で公表するとともに、JAバンク相談所やJA共済連とも連携し、迅速かつ適切な対応に努め、苦情等の解決を図ります。

当JAの苦情等受付窓口（月～金 8時30分～17時）

本店総務部	電話0982-23-1880	(FAX 23-1855)
本店金融部	電話0982-23-1887	(FAX 23-1865)
本店共済部	電話0982-23-1889	(FAX 35-3288)
土々呂支店	電話0982-37-0712	(FAX 37-0711)
伊形支店	電話0982-37-0032	(FAX 37-0115)
恒富支店	電話0982-33-5371	(FAX 33-2613)
あたご支店	電話0982-35-1616	(FAX 35-1632)
東延岡支店	電話0982-33-5363	(FAX 33-5364)
岡富支店	電話0982-23-1888	(FAX 23-1858)
富美山(出)	電話0982-20-3006	(FAX 33-4155)
南方支店	電話0982-32-6375	(FAX 32-4137)
平田支店	電話0982-39-0843	(FAX 39-0861)
西階支店	電話0982-33-2718	(FAX 33-2717)
東海支店	電話0982-32-6411	(FAX 21-4958)
北方支店	電話0982-47-2003	(FAX 47-3472)
北川支店	電話0982-46-2002	(FAX 46-3411)
北浦支店	電話0982-45-3105	(FAX 45-3467)

紛争解決措置の内容

当JAでは、紛争解決措置として、次の外部機関を利用しています。

・信用事業

鹿児島県弁護士会紛争解決センター（ ）

の窓口または宮崎県JAバンク相談所（電話：0985-31-2057）にお申し出ください。

（ ） 鹿児島県弁護士会紛争解決センターは、宮崎県JAバンク相談所を通じてご利用いただけます。

・共済事業

(社)日本共済協会 共済相談所（電話：03-5368-5757）

(財)自賠責保険・共済紛争処理機構（電話：本部03-5296-5031）

(財)日弁連交通事故相談センター（電話：本部03-3581-4724）

(財)交通事故紛争処理センター（電話：東京本部03-3346-1756）

最寄りの連絡先については、上記または の窓口にお問い合わせ下さい。

7 系統セーフティネット(貯金者保護の取り組み)

当JAの貯金は、JAバンク独自の制度である「破綻未然防止システム」と公的制度である「貯金保険制度（農水産業協同組合貯金保険制度）」との二重のセーフティネットで守られています。

「JAバンクシステム」の仕組み

JAバンクは、全国のJA・JA宮崎信連・農林中央金庫（JAバンク会員）で構成するグループの名称です。組合員・利用者の皆さまに、便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員の総力を結集し、実質的にひとつの金融機関として活動する「JAバンクシステム」を運営しています。

「JAバンクシステム」は、「破綻未然防止システム」と「一体的事業推進」を2つの柱としています。

「破綻未然防止システム」の機能

「破綻未然防止システム」はJAバンク全体としての信頼性を確保するための仕組みです。JAバンク法（農林中央金庫及び特定農業協同組合等による信用事業再編及び強化に関する法律）に基づきJAバンク基本方針を定め、JAの経営上の問題点の早期発見・早期改善のため、国の基準よりもさらに厳しいJAバンク独自の自主ルール基準（達成すべき自己資本比率の水準、体制整備等）を設定しています。

また、JAバンク全体で個々のJAの経営状況をチェックすることにより、適切な経営改善指導を行います。

「一体的事業推進」の実施

良質で高度な金融サービスを提供するため、JAバンクとして商品開発力・提案力の強化、共同運営システムの利用、全国統一のJAバンクブランドの確立等の一体的な事業推進の取り組みをしています。

貯金保険制度

貯金保険制度とは、農水産業協同組合が貯金等の払戻しができなくなった場合等に、貯金者を保護し、また資金決済の確保を図ることによって、信用秩序の維持に資することを目的とする制度で銀行・信金・信組・労金等が加入する「預金保険制度」と同様な制度です。

8 農業振興活動

農家の高齢化や担い手不足等により、管内においても農業基盤の弱体化が懸念されています。そのような中、地域に応じた農業体系の将来像となる「人・農地プラン」の作成を各地域との協議により順次進め、あわせて、国の施策を活用した新規就農支援の取り組みも行っていました。また、関係機関と連携し、耕作放棄地の解消や農地集積・鳥獣害被害対策にも積極的に取り組んでまいりました。

経営指導については、農家の経営安定を目指し、経営・技術担当部門および支店・経済担当者で構成する指導班を中心に支援農家の経営改善に向けた支援に取り組みました。また、簿記帳の指導を通じて、経営内容の把握と経費削減および所得向上への意識高揚を図りました。

9 社会的責任と貢献活動

わたしたちは、延岡の「食と農」を守り、みなさまに「笑顔と満足を」お届けし、ふるさとの「豊かな未来づくり」に貢献します。

また、地域協同組合として地域社会との「共生」を目指し、「信頼される・選ばれる」JA運営に努めてまいります。

【取組み・支援・活動】

- JAだよりの発行
- 第10回農業まつり（焼肉フェスティバル等）の開催
- いきいき農業塾の開催（平成24年度受講者42名）
- 女性部による「ふれあいサロン（高齢者福祉活動）」の開催
- 男性向け「味噌作り講習会」「料理講習会」の開催
- 小学校への「農業教材本」の贈呈
- 青壮年部による「お米学習教室」の開催（田植え・稲刈り体験、小学校6校）
- ちぐりんフェスタでの料理講習会の開催
- 食農講演の実施
- 麦ふみ大会の開催
- 玉ネギ苗植え・収穫体験学習の開催
- 交通安全用カーブミラー・交通安全資材の寄贈
- JA共済書道コンクールの実施
- JA延岡杯 サッカー大会の開催
- グラウンドゴルフ・ゲートボール大会の開催
- ミニバレー・健康教室・演芸大会の開催



お米学習教室



料理講習会



玉ネギ収穫体験学習

「みんなのよい食プロジェクト」

みんなのよい食プロジェクトとは、これからの日本人にとって「よい食」とは何かを、日本の農家とJAグループ、そして消費者のみなさんが一緒になって考え、行動していく運動です。

JA延岡では、みんなのよい食プロジェクトを展開し、地産地消運動と合わせた、安全安心な農畜産物の提供をしています。



みんなの
よい食プロジェクト